

2020
令和2年

7

No.642

広報ひだか

Hidaka

巨高市立 高畑川
誇れる学校、自慢できる

新生活への
第一歩

ひだかの魅力 再・発・見

今回の「ひだかの魅力再発見」は、市内で企業向けのお弁当屋を営む樋口麻子さんをご紹介します。



樋口 麻子さん(鹿山)

女性の活躍 創業塾で学び市内で開業

元は調理師として働いていましたが、忙しく働く人たちに、おいしいお弁当を届けたいという思いから昨年9月に市内でお弁当の宅配を始めました。創業を思い立ったとき、日高市商工会による創業塾のことを知りました。創業塾では異業種の仲間がたくさんで、互いに情報を交換し合ったりして、良い刺激となっています。始めた頃は、本気でやっていると思われることなく、くやしさを我慢することもありました。日高市の皆さんは、温かい人が多いので、商工会をはじめ企業の

日高って、人柄が温かい。「おいしかったー」の一言が私の原動力になっています。



▲毎日、手作りしています

方も親身になってくれるので、とてもありがたく思っています。私自身も日高で育ち、昔からのじみのあるお店が事業の協力を申し出てくれたときは、うれしく思いました。新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休校で、学童に通う子どもたちにお弁当を提供すると、保護者から感謝の言葉をいただくこともあり、少しでもお母さんやお父さんの手助けになればと思っています。私も2児の母ですが、夫の協力もあり、家庭と仕事の両立ができています。

これからは、もっと老若男女関係なく自分のやりたいことを実現できるような社会になっていくような気がしています。



「ハーフバースデー☆半年になりました(^ ^)」

神田 一花ちゃん

8か月(原宿)



「お揃いコーデ」

中村 ひとばちゃん

5歳2か月

唯葉ちゃん

2歳5か月(高萩)

わが家の
愛撮る

お子さんの写真を掲載しませんか？市ホームページ「便利なサービス」にある「電子申請」から投稿できます。プリントした写真を提出する場合は、お子さんの氏名・生年月日、保護者の方の住所・氏名・電話番号、一言コメントを市政情報課市政情報担当へ郵送、投稿または直接お寄せください。

投稿はこちら→



編集室

緊急事態宣言中は、近所の子どもたちを見かけることもほとんどありませんでしたが、6月から市内の小・中学校が再開し、2か月遅れの入学式も開催され、以前のような活気を感じられるようになってきました。市民の皆さんにもその様子をお届けしたく、今回の広報ひだかでは、市内各小・中学校の様子をたくさん掲載させていただきます。子どもたちの笑顔がたくさん見られ、私自身も元気をもらうことができました。市ではテイクアウト事業を応援していて、市内の飲食事業者でいろいろなお弁当が楽しめるようになりました。これを機に、食で元気を取り戻してみたいかがですか。(井上)

中学生に聞きました！ 学校が再開した今思うこと



松本 美羽さん (旭ヶ丘)



辻口 剛さん (高萩東)